

【京都大学大学院人間・環境学研究科 相関環境学専攻 自然環境動態論講座 生物環境動態論分野 助教】

平成 29 年 6 月 13 日

職種	助教
募集人員	1 名
所属および勤務場所	<p>教員組織：京都大学人間・環境学系</p> <p>教育研究組織：京都大学大学院人間・環境学研究科 相関環境学専攻 自然環境動態論講座 生物環境動態論分野</p> <p>(将来の一定期間、流動教員として京都大学大学院地球環境学堂・学舎に所属し、人間・環境学研究科および地球環境学堂・学舎の両組織において研究・教育に携わっていただく可能性があります。)</p> <p>(所在地：京都市左京区吉田二本松町)</p>
専門分野	動物または菌類を対象とした生態学・生物多様性科学
担当授業科目など	<p>本公募による教員には、動物または菌類を対象とした自然史・生態・多様性などを扱う「マクロ系」生物学の教育・研究指導をしていただきます。</p> <p>(1) 人間・環境学研究科における生物科学関係科目（生物環境動態論演習など）</p> <p>(2) 総合人間学部における生物科学関係科目（課題演習：生物学など）</p> <p>(3) 全学共通教育における生物学系実習ならびに講義科目（生物学実習など）</p>
着任時期	平成30年4月1日までの出来るだけ早い時期
応募資格	<p>次の条件のすべてを満たすこと</p> <p>(1) 専門分野における博士の学位を有すること。</p> <p>(2) 専門分野において優れた知識を有し、研究遂行に十分な能力と熱意があること。</p> <p>(3) 専門分野において大学院生、学部生の教育・指導を行う十分な能力と熱意があること。</p> <p>(4) 全学共通科目の担当を意欲と責任感をもって行う能力があること。</p> <p>(5) 教育研究のみならず学内諸業務にも積極的に協力し貢献できること。</p> <p>(6) 日本語運用能力を十分に有すること。</p>
勤務形態	<p>常勤（任期なし）、専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）</p> <p>休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日、夏季一斉休業日</p>
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険等	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
提出書類	<p>すべてA4判の用紙を用い、(3)については各5部を、それ以外は各1部を提出すること。</p> <p>(1) 履歴書（様式自由。高等学校卒業以降の学歴・職歴を記載。電話番号・電子メールアドレス、所属学会を明記）</p> <p>(2) 研究業績一覧（論文、著書、特許、その他に分けて発表順に記載。査読の有無を明記のこと。出版予定のものには、出版社等の承諾書等を添えること。）</p> <p>(3) 主たる研究業績 3点（抜き刷り・コピー可。著書は、1部のみ提出でよい。）</p> <p>(4) これまでの研究概要（1,500字程度）</p> <p>(5) 本学における研究に対する抱負（1,000字程度）</p> <p>(6) 本学における専門科目を担当するにあたっての抱負・意見（500字程度）</p> <p>(7) 本学における全学共通科目を担当するにあたっての抱負・意見（500字程度）</p> <p>(8) 科学研究費補助金等の競争的資金の獲得状況および受賞歴（任意）</p> <p>(9) 応募者について照会可能な方2名の氏名および連絡先、メールアドレス</p> <p>なお、提出書類は原則として返却しませんが、著書・博士論文については、申し出があれば着払いにて返送します。</p>

書類送付先	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町 京都大学大学院人間・環境学研究科長 杉山雅人 宛 ※提出方法は郵送に限ります。封筒または封緘した包みの表に「自然環境動態論講座（生物環境動態論分野）教員応募書類在中」と朱書きし、書留郵便にて送付のこと。
応募締め切り	平成29年8月24日（木曜日）必着
選考方法	提出書類に基づいて選考します。選考の過程で面接を行うことがあります。その際の交通費・滞在費等は応募者の自己負担とします。選考結果は、人間・環境学系会議での最終決定後に通知します。
問合せ先	京都大学大学院人間・環境学研究科 自然環境動態論講座 市岡孝朗 E-mail: ichioka.takao.5m@kyoto-u.ac.jp（*を@に替えること） なお、電子メール以外による問い合わせは受け付けません。
男女共同参画	京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。
その他	提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。 正当な理由なく第三者へ開示、譲渡および貸与することは一切ありません。 人間・環境学研究科については下記のwebページをご覧ください。 http://www.h.kyoto-u.ac.jp/